

「数学月間」思潮（その5）

ウェブサイトで米国数学月間（MAM）の今迄21年間の総括的要約を入手したので、今後の数学月間活動の参考迄に紹介する。

SGK 片瀬 豊、尾木 純

About Mathematics Awareness Month

<http://www.mathaware.org/about.mam.html>

歴史

MAM は毎年4月に行われ、その目標は、数学に対する一般の理解と評価を高めることである。MAMはロナルドレーガン大統領の宣言によって Mathematics Awareness Week として1986年から始まった。彼は次の様に述べている。

我々の経済と社会の進歩に伴い、数学の重要性が増加しているにもかかわらず、数学プログラムの登録は、アメリカの教育制度のすべてのレベルで低下している。それでも、数学の応用は、医療、コンピューターサイエンス、宇宙探査、ハイテク商業、ビジネス、防衛、行政のような多様な分野で不可欠である。数学の研究と利用の促進を図るため、すべてのアメリカ人が我々の日常生活に科学のこの基本的な分科の重要性を思い出すことが重要である。

1986年には数学に関してスミソニアン協会でのオープニングエキビジョンと、連邦議会議事堂でのレセプションを主催する様な国家レベルでのイベントに活動を集中した。

その時から、焦点はローカルで、州で、そして地域レベルでの活動にと変わっていった。

長年に亘って、一般的な目的は一貫して、研究分野として数学の可視性を高め続け、そして数学のパワーと策略をより多くの人々に伝達することであった。

1999年には Mathematics Awareness Week は、Mathematics Awareness Month になった。

JPBM は2005年迄 MAM のウェブサイトを開催するための数学フォーラムを積極的に進めている。

活重力

MAM の活動は、一般に、大学と大学部門、制度上の公的な案内所、学生グループ、および関連する協会と利益団体により計画されている。

それらは、多種多様なワークショップ、競技会、展示品、フェスティバル、講義、およびシンポジウムなどを含んでいる。

選出された役員は数年間、MAM のために宣言を出し、月間を監視するために用意した特別な会議とイベントに色々と関与している。

活動の数と幅は、年々増大する。例えば、ある大学はハイスクールの数学日を後援して、女性達が数学の学習を続ける様勤めている。

ある大学では2つの部門 -数学とアーキテクチャ- 実地の経験を、コード、tilings、カオス、幾何学、グラフ、およびコンピュータ科学のような話題を提供したインタラクティブな traveling exhibit を計画しプロデュースするのに協力している。

その展示が、ボルチモア科学産業博物館の数学展示のモデルとして使われた。

ハイスクールも又、MAM 活動に関与している。他の学校が近くの機関の数学学部によって成される講義を楽しむ一方では、借り物競走と雑学クイズを含むコンテストを毎日開いた学校もある。毎年、国家テーマが選ばれる。そして、テーマ材料が開発されて、配布される。毎年の活動についての概要と結果は、各春には集められている。

努力を結集し、参加を促進するために、MAM のパッケージが AMS、ASA、MAA、および SIAM のリーダー；部門のチェアマン；選ばれたハイスクールの教師；公共政策代表；そして、関連した協会のリーダー達に送られる。

パッケージには、カラーポスターと告知を含み、ウェブサイトは、特定の MAM イベントにカスタマイズできるサンプルリリースを含んでいる。

MAM 情報は、何千もの教授、先生、学生、両親、社会政策のリーダー、実業家と他のコミュニティメンバーに届けられている。

過去の MAW/MAM テーマ

- 2007-Mathematics and the Brain (数学と頭脳)
- 2006 - Mathematics and Internet Security (数学とインターネット保全)
- 2005 - Mathematics and the Cosmos (数学と宇宙)
- 2004 - The Mathematics of Networks (ネットワークの数学)
- 2003 - Mathematics and Art (数学と芸術)
- 2002 - Mathematics and the Genome (数学と遺伝子)
- 2001 - Mathematics and the Ocean (数学と海洋)
- 2000 - Math Spans All Dimensions (数学は全次元に)
- 1999 - Mathematics and Biology (数学と生物学)
- 1998 - Mathematics and Imaging (数学と画像処理)
- 1997 - Mathematics and the Internet (数学とインターネット)
- 1996 - Mathematics and Decision Making (数学と意思決定)
- 1995 - Mathematics and Symmetry (数学と対称性)
- 1994 - Mathematics and Medicine (数学と医療)
- 1993 - Mathematics and Manufacturing (数学と製造業)
- 1992 - Mathematics and the Environment (数学と環境)
- 1991 - Mathematics - IT'S Fundamental (数学 - それは基本的です)
- 1990 - Communicating Mathematics (数学を語り合う)
- 1989 - Discovering Patterns (パターンを見出す)
- 1988 - 100 Years of American Mathematics (米国数学の100年)
- 1987 - The Beauty and Challenge of Mathematics (数学の美しさと挑戦)
- 1986 - Mathematics - The Foundation Discipline (数学 - 基礎訓練)

MAM は数学が、特定の分野での数学的な開発と応用を強調する書かれた教材と、付随するポスターを通して数学の重要性を認識する様毎年 JPBM (Joint Policy Board for Mathematics)によって後援される。このサイトに関する質問またはコメントは、mamsupport (paoffice@ams.org) 迄